

駒形橋縮切工事

工事設計者 復興局橋梁課、福井技師

工事仕様概要 基礎工事は地盤以下四呎位より約十呎の砂利層あるを以て杭打コンクリートとし橋脚の大きさは20' × 117'の小判形なり

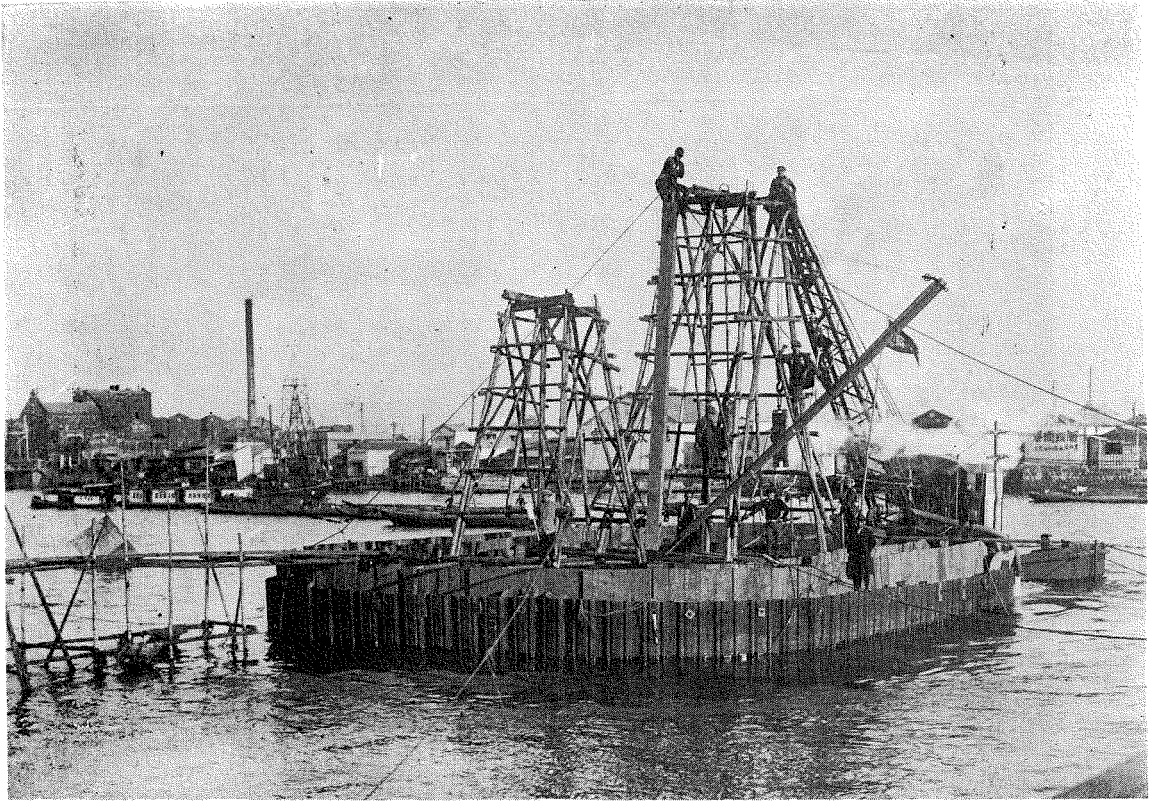
橋臺も同じく杭打コンクリートとす

工事着手年月日 浅草側橋脚の一部縮切工事は大正十三年八月廿三日同年九月三十日に竣工したるに依り後は直營工事とし着々進行中なり

竣工豫定 竣工豫定は大正十四年度内なるも兩岸の用地にある家屋移轉の遲速は本工事の竣工に多大の影響あるものこす

工事監督者名 橋脚一部縮切請負工事は高橋技手の監督に成り直營工事は熊谷直彦氏の擔任とす

直營又は請負者氏名 基礎一部縮切工は日本工業會社殘部は直營



駒形橋締切工事出来

シートパイルにて隅田川の中央に
キマリ良く締切工事を終りし處なり
締切の面積少なる故、川の交通に
大なる障害なし